

昭和三十一年三月十四日

第一回定例会（第四回）議錄



一昭和三十一年三月十四日午前十時館山市議会第一回定例会  
終梳会を千葉銀行北条支店会議室に招集する  
一出席議員数三十四名その氏名左の如し

一番 巨 升潔 二番 可世木芳藏

三番 福岡保徳 四番 金木久一

五番 秋山万次 六番 小谷無邊

七番 磯辺周雄 八番 俊藤ゆき

九番 山口房治 十番 大野清五郎

十一番 佐久間急次郎 一二番 山本 昇

一三番 鈴木 孝 一四番 飯田義男

一五番 遠山ヨネ子 一六番 脇田順一

一八番 小沢太郎 一九番 石井平次

二〇番 中村良五 二一番 松本藤太郎

二二番 安西政昭 二三番 高橋文治



二四番

蘇生田七郎

二五番

田中忠藏

二六番

田中祿郎

二七番

伊勢仙之助

二八番

山口康

二九番

黒川佐太郎

三〇番

小沢恵太郎

三一番

望月暉作

三三番

吉田勇次郎

三四番

嶋貴壮作

三五番

小沢永光義

三六番

嶋田繁

一、欠席議員数三名との氏名左の如し。

一七番

鈴木市藏

三一番

田村喜兵衛

一、本日議事日程左の如し。

日程第一

議案カニ三号 難い市税条例制定ニ関し

日程第二

昭和三十一年度予算編成方針に対する一

般質問

一、本日の会義の事件は左の如し

昭和三十一年度予算編成方針に対する一般質問



開会 午前十一時三十分

議長（石井繁君）本日の出席議員数三十九名、欠名二名、今よりカニ開  
定例会第四日目の会義を開きます。

本日の議事はお手元配布の日程表により行います。

一八番（小沢太助君）本日の日程変更の動議を提案したところ、思  
います。日程第一議案第三十三号に因りては、只今果の方と  
照会中ですが、まゝにしてまた解答がございせんので、時間を節約  
する目的をもち、日程第四議案第三十三号は、二の一般質問から  
議事を進行したいと思ひます。

議長（石井繁君）お諮り致します。

只今十八番議員より日程変更の動議が出たのでございま  
すが、十八番議員の動議に御異議がございせんか。

異議なしの聲

議長（石井繁君）それでは御異議なしと認め、日程変更の



たいます。それでは目録第三昭和三十一年度予算編成方針  
に対する一般質問を申し上げます。

質問は通告順により発言を全權していただきます。尚特  
別節約の意味におきまして大目玉分以内という点に限定い  
たさと思ひます。それから、自席の質問再質問は二回以上  
は許さず三回はいたしますからようう御了承願ひます。

それでは二十四番議員秋生田七郎君を全權願ひます。

二十四番(秋生田七郎君)御指名を申し上げます。市長の行政方針といた  
う予算と関連性を持ちます。その簡単に御質問申上げ  
たいと思ひます。大体市長とる御答弁願ひたいと思ひます。

市長さんの予算説明におき、今年に緊縮予算である  
とお伺いしました。しかし、市長さんはいその中でいくまで三十  
九年の三十百五十の赤字解消が目的の、であるから根本的には  
自しゆしゆいはいというふうなお話でした。しかし、私は現更は



大極的に於て緊縮編であり特に農政、水産関係はもと然りと  
私は思ふす内容に於ては、一は、かれ他の議員が、その度  
にあると思ふすので、省を、すが、あるほど、教育予算は、いしく  
予算を、付く、總予算の、その、功、で、ある、た、その、通、り、を、あり、ま  
すが、その、関、を、い、れ、し、れば、その、予算、説明、中、補助、金、教育、予算、を  
は、る、より、一、層、附、起、債、と、他の、財、源、に、依、存、する、と、し、る、が、大、き、い  
た、め、に、中、と、する、か、も、知、れ、た、い、れ、い、う、い、わ、ゆる、条、件、付、の、説明、で、い、ふ、  
が、い、は、極、め、て、奇、怪、な、万、才、説明、と、云、わ、る、を、得、た、い、し、う  
い、う、債、念、の、付、い、る、予算、説明、と、い、う、のは、ある、い、ない、と、思、い、ん、で、あ  
り、ま、う、一、は、これは、教育、面、ばかり、で、なく、全、極、的、に、し、う、い、う、能、度、を、  
は、せ、なく、市、会、が、議、決、し、る、予算、を、設、定、し、た、り、ま、う、一、は、い、れ、を、買  
行、う、る、に、お、いて、甚、だ、権、威、に、耐、え、た、い、し、と、思、ふ、す、市、会、の、権、威、の  
た、め、に、バ、ス、ト、を、登、し、て、買、行、する、確、信、が、あ、り、や、な、い、や、

第、二、は、財、源、で、い、ふ、ま、う、一、は、特、別、文、付、税、が、針、と、し、て、い、わ、ん、で、



は、あるは、納税納経費の財源として見込られてゐると思ふ。  
 年々、さういふ財源は、人々へば、そのを針として、利口には、悪い影響で  
 あり、その財源の欺瞞政策であり、それを針として、不健全な  
 予算編成を針とすると思ふ。そのために、おそれるべきである。  
 本

第三は、大村の合併により、増大の合併例、起債、国有土地の  
 転下げというものは、今後合併により、優先的と当局は考慮す  
 けるといふものの合併条件の起債も、他の増大条件を格別  
 する積極的意欲は、欠けてゐると思ふ。それが、対する意欲  
 しかん、いかに、平實な大極的のみならず、なるほど、さういふ極  
 断的経費を削り、赤字解消を、その一切を徹底的にも、他  
 者が、利口というものは、必要とします。が、かうは、増大の問題  
 として、増大署長として、増大は、さういふ、増大の増大  
 を、針として、ある、休、今後、さういふ人を、増大の意志があるから、か



官山右義亭



市会が米穀はどの程度専断するかと云うと米ドクとい  
 々たる米穀を専断するおろそきでありませうがその米ドクといふもの  
 考へておられるか要を云うといふと米ドクといふ事  
 情は多うおけいふたうな事といふ理由を概観を概観とい  
 つかはさるゝ米ドクといふ市会が概観を申すが大なる概観が  
 あると思ふんが云うといふと米ドクといふ市長さんのお考  
 えをお伺いしたいと思ひます

最近どうお伺ひたいとは商業学校の施設組合の問題  
 がありませうが云うと云うと米ドクといふ市長さんのお考  
 市会はその米ドクといふ補償を要するといふことであるがその  
 米ドクといふ補償は思ひの外といふと米ドクといふ市長さんのお考  
 おうと云うと市会が米ドクといふ補償があるといふことであるがその  
 米ドクといふ補償は思ひの外といふと米ドクといふ市長さんのお考  
 米ドクといふ市長さんのお考



いり通謀が来てもよいればイブト返さなければならぬ  
いり財源をクレジット出来るかかすり若しくはなる教育であり  
イイから仕事は賛成でありイイがその財源措置は如何  
以上市長さんの腹を牛をお願ひ致しませう

市長へ田村利男君）二十四番議員にお披露元します

学校起債のこれはあるべき起債補助というものは果を  
通してても国から三万ラは交付されるものがありましてその  
トすう計上したものでありますすすければおもの最中の  
米田はさくまで国家予算から出せるものである  
のど国衆予算が大巾に削られられた場合とは地方の  
の起債というものが減するものでありましてこの問題に  
つらうしては市会を輕視し架空の予算を立てたことは  
ないのいふをさすさう即承知願ひたいと思ひます次に  
特別交付税でござい今年三十四年度は今日から通開



新くうに決定したものでありまして、いろいろうろたへては  
 分らないのでありまして、大体いこう来るとかというシモ  
 大体千葉県知事の大体の方針によりまして千葉県  
 自体が青森県財政指定県になるかも知れません、今  
 後県民の態度がいかようになるかもしません、故にまた  
 何らかの金が来たとしても市独自の立場において農村施設  
 をした、シモもありあえてシモを計上しなかつたものでありま  
 す、次に合併条件として合併市町村は払下げ土地の払下  
 が、代金おんどを払いますか、安く手に入る方法があるという  
 わけですが、そのと東にうろたへては考えしておりますが、大  
 体その当時軍の施設に買入上げられたものは、その土地ある  
 いは土地や附近の学校とか元の地主に返さなくてはという  
 土地の不可能のシモ、それほじ市自体に何があるかという  
 土地を買入うれば、それ余餘がつかつたシモ、そのと東に  
 おいて、



に然り付かざるが事實であります

それから消防署長の職務が兼すおることは事實でございます  
とすべしけれどもこれは消防署長は必ず置くべきものであ  
ることは事實でございますけれどもそれからおきましては当然総務  
課長をその代理させて参るべきであります。が市と各地  
区と消防の業務が同一企業を擴大して参ります。したる  
ので消防関係をもそのほり伝えれば市長の顧問機関である消防本  
をそのほり伝えれば市長の顧問機関である消防本  
員会市議員も親すおります。がその身持の意見とし  
まして消防署長は設置した方がいゝという意見が  
数々あるとして、また消防署長は置くべきかというところ  
は未だおきません。消防委員会、即ち意見であります。  
消防署長を置くか置かないか、未だは今迄皆様の御意見  
を更だ諮問して参りまして未だ致しなれと思ひます。



次に中五郎をいすすが、刺殺、戒の問題、いづかすか  
 市長におきましては、三千百カとあり、オレと、赤子、を一日、赤く  
 免状、いふ、と、する、目途、に、立ち、ま、し、と、赤、身、シ、刺、の、第  
 一、戒、の、積、金、を、免、し、ま、む、が、り、ま、す、か、い、ふ、は、勿、論、市、民、会、の  
 皆、ま、の、即、協、賛、を、得、が、か、た、難、シ、と、は、申、訴、可、い、又、第、二  
 で、い、う、は、ま、す、が、あ、く、ま、で、市、の、財、政、を、シ、の、ま、ま、捨、て、置、け、な  
 い、と、い、う、秘、の、信、念、の、ま、ま、行、な、ま、む、と、い、う、す、の、も、抑、了  
 承、願、と、い、い、思、い、ま、す、オ、レ、は、皆、ま、の、の、れ、な、け、い、ま、す、が、お  
 最後、に、単、独、施、設、組、合、が、い、ま、す、が、当、時、地、方、の、時、は、  
 決、論、的、と、い、ふ、ば、い、の、議、論、が、地、方、自、治、を、行、な、む、か、と、思、ふ  
 方、に、再、互、間、合、せ、い、た、し、オ、レ、は、や、う、て、は、い、け、な、い、と、い、う、決  
 論、が、出、て、お、り、ま、す、と、い、う、す、む、に、す、む、に、佐、原、市、で、も、行、い  
 鉾、子、市、で、も、行、な、す、お、り、ま、す、現、在、全、国、的、に、み、て、ま、す  
 二、十、一、億、と、い、う、数、字、が、各、都、市、に、出、さ、れ、て、お、り、ま、す、現、在



やるミレドフイは市議会議長の印地湖議員を解してやらずのミレ  
ダレイイ最近お事団体等の問題に付するしは二の南  
類の解決いかんは先程申し上げました全国ニ一億の植大  
の類の処置に付するしは自衛隊に於ては失してな  
おごりヒけるわけにゆきません今後いろいろと政治問題と  
相対しいしの解決を円滑に解決するミレは期待して今後  
の状態に待たれしむんいます

三田重八(秋生田七郎君)説用了承しなした

私は青陽園署長を置くとしよう。大鉢聚樂齋を唱えろとかか  
り、和置と又収入役を置く意にがある。最後にヒナ方  
内を速カト返す通知は来ないかと思ふ。人ではありきやが  
来ないからいけばどうかう方法で返すかとの事矣ヒフイ  
市長（田村利男君）通知は来ております。しかしながら先程申  
し上げおした三千円と云う金額納付ものじから命令せ今後



折衝いたします

それから収入便問題でも市長は置くと決めたことは分るが市會議員の皆さんが代議士として甘んじ置けるという事が高そうに思いますが斯う考へたとは思います

消防署長の問題でも市長節約というのと消防署と所管という問題とでは別な面を面めんびんにかけるわけだからこの問題であります。それだから先ず算を定めたのでございまして必ずしも置かざるを期するわけではなく大體置かざるわけをいわけでござります。即ち承願いせしと思ひます(笑)お聞き

議長(長井) 龍一さん大分、議員堀田君が金庫願います(不審)堀田君(君)おは市長並びに農産課長にお伺ひしたいと思ひます

堀田君の平賀君の金庫大分は農産課の地を貸すという事と



にあらうと思ひうのびあります

産業振興費レシターオレー木戸度は一ヶ四百万内計  
上してあるのみありますが一階シれを減シターオレー七百方  
円と低下レシ中では商工水産観光費もオレってある  
のびありオオオ、かう言ふに農村に來るべきものは五百万を以て  
たりますしかかう省の款はレシ予算をもつ果してこの極  
大の財政難地区の生産を盛上げたいと更に増徴する自  
信があるか、主計課課長レシ農産課課長は同一トト  
思ひます。予算を定む時はシレだけやスレハナシレハ  
うでであるけれど、農産課長は恥を懸けようその獲得  
に努力するが、たゞ今の中村初平議員が、東は農村を能  
く振興する自信があるかと、市長並に農村課長は同一ト  
并れ思ひます。減らしたいから減らすだけ、和合通うなと思  
ハオ、レハ、レハ、の自信がなければ、道に農村の信頼を



予ぐレは、たゞのいひであり、かの市長の説明と

いふ、地財促進特別措置法によつてすべての柳

納経費は削減したから追加予算を考慮するお

話であり、すのいふも柳納経費をつけなければ

も直営の事業に盛り込むかつかないよりも削減

を考えたもの、市をみて市長の農業事業に対する認

識は、低調である云々を得たといひあります

それ想うと合併后における市の性格が一変した

認識を定むに付し云々から遠いありやせん、即

ちねの如く近代都市といふものは資本主義の発子

である資本主義の発展によつて新時聯を来た

のであり、すの合併といふは大なる農業地と

水産両方が加り、今や商工中に収は満足

出来、新人新し来る市の格は都市の格



シテ申すも、亦、又、農業者、議員、は、米一と、旧市内の、商  
工、議員、と、対立を、い、ふ、もの、は、あり、ま、せん、と、な、れ、ば、市、民  
の、業者、は、必、然、の、用、ひ、あり、ま、す、が、若、く、と、シ、テ、を、得、て、調  
和、的、な、発展、シ、る、市、の、発展、の、為、に、どう、と、思、う、の、は、どう、オ、シ  
て、農、業者、と、商、工、が、相、対、立、す、る、と、い、う、昔、凡、の、考、え、は、今







トよ、一、収入は踏繰りた感、しが張のひありまするに  
いふと合併トよ、一、収入は踏繰りた感、しが張のひありまするに  
人お取りト付るが産業業りの他の方面トおそは金くお取上  
げセむら付いさうじ農山村は金の卵を生むととりやたよ  
すか、ト生むかど、さう、やうじんく、金の卵は取上げられるか  
い、ト付して、餌が支給されたいや、か、いは農山村はそのオオイ  
は、そのオオイは、取んで、し、さう、だ、う、う、と思、う、ん、で、あり、ます  
さう、し、た、と、東、北、フ、イ、市、長、さん、の、認、識、を、新、しく、一、と、賞、め  
なければなら、ない、か、あり、ます、オ、オ、か、又、更、に、本、当、と、農、山、村、を、大  
事、ト、下、さ、う、か、う、ば、今、后、ト、対、する、市、長、さん、の、確、定、なる  
保、障、を、賜、り、た、い、と思、う、か、あ、り、ます、更、に、農、山、村、課  
長、は、その、予、算、や、は、産、業、を、考、え、一、般、と、増、強、する、自  
体、あ、り、や、不、な、や、と、東、北、フ、イ、お、お、り、た、い、と思、い、ます  
(粉、子、起、う)

市長(田村利男君) 堀田議員にお答えします

堀田議員はせんじつめですと農林経費市長は例  
そう思ふのひびきですが確かに現在の当初予算の内  
容面におきましては今の通りトゴスですレこれは  
ちくすで物販的経費を割るとして物販的経費の  
半では大増分のかりか農林施設費がひびいたわけは  
ござりますすのトゴス算案は一覽しただけではそのよう  
に考えらるゝかも知れませんが市長として先  
般来折りにあれ甲とげきトゴス通りに来ト農林村費  
を無トゴス面ではないのトゴスありすレト今后県と  
の折衝とよりトゴストゴスこの問題は県自体によ  
りトゴス初動的経費か否か額トゴスありすトゴスト  
堀田市長独自の考案トゴスでは行えんトゴスレ期スル  
トゴスすか将来県折衝トゴストゴストゴス物販的





五にクミイロをスミナカニシテ、  
 獄ラヒリウアリヤオヤグバモ  
 長久無意が子曾才直更の時  
 当リヤせんのか

一六番（鶴田順一君）矢今の御返事にはありませうか、御歎  
御無費で済んだらいいが、直ちに直達できず、お煩  
はせようせうとすか

市長（田村利男君）の熱意はあります。下はあります。其の  
りの期間納めと余裕は十分。他市をみますと補助納め  
費は引く期間と元付かつたところもあつた。不  
一。土曜日を平日と定めておられます。其の  
市会では極端な納め費は出さないと。条件  
をつけろというや。マシーの県の指令を受けたい。その  
他市の状態。下はあります。下はあります。その



る書印利の問題と存りますと思ふより、お救わがかる  
とあり、おすのむ印了承願したと思ひます

一六番(脇田順一君) 今迄シケール迄むを得た、おめりシケール迄  
おとれた、おすのむおすを虐待するつかりは、おすのむ印意  
志し承ります、おすのむおすを得た、おすのむおすのむ  
皮に償をけるおすのむおすのむ

市長(田村利男君) おらゆる市の会派を算上せられ、おすのむ  
一、おすのむおすのむ印意志しおすのむおすのむ

議長(石井潔君) 議事おすのむ議長、おすのむ議長  
おすのむ

一七番(山本昇君) 市の債権は、今議論の中心に、おすのむおすのむ  
おすのむの地方財政再建特別措置法、おすのむおすのむ  
おすのむのむおすのむ、おすのむ昨日市税、おすのむおすのむ  
おすのむおすのむおすのむおすのむおすのむおすのむ

不  
か  
所  
究  
中  
に  
あ  
り  
ま  
す  
の  
や  
に  
い  
は  
し  
て  
関  
連  
が  
あ  
り  
ま  
す  
か  
二  
六  
地  
方  
財  
政  
特  
別  
措  
置  
法  
に  
対  
す  
る  
市  
身  
局  
の  
認  
識  
ト  
フ  
イ  
が  
身  
ね  
え  
と  
思  
い  
ま  
す

昭和二十一年度予算より左の通り市民が尤も困ることを  
まうおりのことと云ふは、いぬゆるしの再建整備に伴ない  
まうと云ふ物の転納経費即ち各種補助助成金の  
全面納付云々をもいひ打たり政策になりませう

二にレ件内イオレイソいうは議論が出来ておりオス  
 か私ハその横較的経費の全面的打切りの基本はシ  
 の財政再建整正備に基くものでありオーイ得本  
 と存すゞゞレドかかろらず昭和十九年度おスオレ  
 お字を以し正地方国体す打ちち果て村は同族  
 の第ニ多奈のシ項及ハテ四奈のシ項に基スレ  
 て極めて強く精神的影響の支分を制限されイ  
 あります



一、是基金繰入以外は予の自給片長官の承認を得た片  
いはばおかしというふうには定めておられぬとありましてその  
美点を了解し得るべきが、これはこの地方財政再建特別  
措置法の中にも、昭和二十九年七月十九日法律第九十  
九号とあり、公知の事実としてある事実と、市当局にお  
きまして、その算編成の基本方針の期間の問題、下  
りきり、即ち当初予算の基本方針の決定の際  
この特別措置法が出来ており、この認識、因に  
おられぬ、かという問題があります。

先般新聞紙上をにぎわしたところの果して、予算  
を編成したと對し、その上級官庁より指摘され、何  
れ、急遽編成替えする、という事実と對し、その上級  
官庁より指摘され、何れ、急遽編成替えする、と  
いう事実と對し、その一般市民は、どうも、措置法と

基くものがあるという認識のあるものと見做さる。

市長は町村代表に対する信頼を失ふ結果となるの  
 だと思つてのひきりです。人蔵者界はかまきりには町村市  
 政と對しなすは團體の輕重を問ふ感にたゞしやぶるを  
 得ないものがあります。かくして市政の執行にあるのは運  
 命の運にたゞしエイナスの上大いれと断言出来得るや  
 へとは非違と憂慮するものがあります。引いて政治不  
 振を来すことかあつたならばどうなつたという問題があり、  
 今より美市長の明確なところから市民の細傳ゆくよう確  
 信ある即ち不祥をお願ひして下いのトであります。

次に地方財政再建整備特別措置法の問題に二  
 三の解説がさうく、分けてあります。それは一に昭  
 和十九年度に赤字を欠いた地方団体が原則的にその  
 再建整備のため制約を受けり方ものであると解説



レニシテ一ツの形に示すやうに既成団体と一ツ法律の  
適用を受け得る場合と相当強い制約を受け得る行政の自  
主権を付け得る又議決機関と議決機関の権限を相当制  
約されるやうに閉ざす一ツ形に議決人本来の立場より  
中絶しては中絶集権の第一歩であり且官憲優越制の第一  
歩であり地方自治の根本理念をいかに守るべきである  
とより認識の元は漸次反対するべきでありその反面  
論より行やみ野放し野合を許さずと云ふところの自治  
体としていかに維持するべきと云ふところは極めて重要に考慮した  
けい必要ならぬ問題でありまず一府一県一市の場合には  
その一ツも二ツも適用を受け得る場合と市の将来特に市民  
の地位と市民の権利にどの程度影響を及ぼすか或は議決  
人として同時に市民の代表であり市民のその政治を行  
ふべき責任をもちありと云ふ故に第一議決人として



づく慎重と研究検討し眞と市長の幸福と市長の  
 利益なる邊境を是とするならば又ある程度の適用を  
 必要を得たりや否かと考ふる次第でありますしかれこの  
 適用を何なる程度の問題が現在多ト解釈せしむべ  
 かりや一に本市団体レールイヤー一適用を受ける更大系  
 争団体レール再建救済備を要する団体は議会の議  
 決を得て自治庁長官の承認を申請するなりしかと  
 多しかりゆゆる指定団体であるなりしかとゆゆる指定団  
 体ではない事を前記団体レールの五場をあるとこの間  
 になりたりといひかり更に解釈の一事とゆゆるは金銭  
 シールと申請をレールと間違はり団体もあるレールと  
 考ふるなりや否とされレールと適用を受けるは  
 別として本市の市長の市政の適用をレールと  
 取るにレール問題に極まり重大なだけなかりか  
 二れは



を収めるが、とり問題が極小の事大ではなからうか。金融機関  
連のあつた場合、そのうち一は先般の市長ス人の予算案編  
成に対する批判におき、教育費入にそのうち一は教育費を  
事業費費とし、そのうち一は教育費にそのうち一は教育費  
助金起債、あるものは教育費助金、あるものは教育費  
シラードシラード、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
事業費費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
債補助金を前提とし、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
前提とし、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
第一、問題のあつた場合、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
選ぶが、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費  
別掲の直防に対する認識と、更にそのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費、そのうち一は教育費

















館山町よりまうのむ現在あるだけの施設でいふと中間  
と合せてゆける確信を待てるから次第でござります

又、出張所廃止問題、とりまき、四角見板、たけや  
けいけい、という問題、でも、まう、か、あ、く、ま、う、市、の、通、達  
は、ま、う、へ、ん、た、く、行、後、を、た、け、い、ば、た、り、ま、せ、ん、か、現、在、の、通、結  
員、に、頼、る、う、あ、り、ま、う、か、ラ、の、通、結、員、共、同、を、新、け、内、会、が  
出来た場合、は、け、内、会、と、通、結、を、取、り、ま、う、部、署、長、は、  
け、内、会、と、通、結、を、取、り、ま、う、部、署、長、と、あ、け、内、会、長、と  
か、い、う、方、々、に、お、願、い、ま、う、一、つ、楊、木、敷、を、り、方、々、の、方、に、お、願、  
い、ま、う、と、考、え、て、あ、り、ま、う、

又、出張所に高船取員、を、あ、る、と、い、う、と、い、う、と、ま、  
う、か、今、の、場、合、と、い、い、ま、う、高、船、取、員、入、は、い、ら、れ、ま、う、は、豊、島、  
と、几、重、と、い、う、所、に、ま、う、ま、う、大、体、若、年、に、替、わ、て、ま、う、け、  
た、ま、う、ま、う、か、シ、い、も、永、久、と、高、船、取、者、を、置、く、と、い、う、け、し、通、





館山市議會

市長(田村利男君)課長在り。答弁。是等事。

總務課長（兎中貴君）所答大致シタルニセキ事

現在の下連絡は、いわゆる市役事務を相当トおこな

すれはたかり市上り戸一オ一てや單口ろ連船乗務だ

市に果てはかりを待つるのみ歟いゝ道々

現在、連絡員は、ゆりやまにありて、区長村内会長

とらうものは積極的ト作れとらう段階に達しておる

不<sup>レ</sup>上<sup>レ</sup>存<sup>リ</sup>示<sup>ス</sup>田部<sup>ノ</sup>尊<sup>ニ</sup>比<sup>シ</sup>テ手<sup>一</sup>一<sup>一</sup>自<sup>レ</sup>発<sup>ス</sup>的<sup>ニ</sup>ト<sup>レ</sup>長<sup>ク</sup>也<sup>ナリ</sup>

長官の公署を依りて一節幕内の行政の軍令に當り

おるところからいふが事務的に協力するところ

各りあんと云ふから頼むかうわけに参りましていられ

市より委員として進路員がおりまゝの道

3. 止めさせるとけんの妻女がゆりばりちて若一や

ういう人オオイオシタリキの足下御例をオクハルヒ



シレド然テモ、一々シテ惟レテ、本職を以テ、レハカク  
 委嘱を以テ、オモ一ツハ、レハ、レハ、レハ、レハ、  
 大體、事、既、有、イ、カ、ン、ハ、レハ、レハ、  
 一、ハ、部、務、会、長、ト、イ、フ、人  
 一、ハ、レ、オ、一、ツ、カ、カ、ウ、事、務、を、頼、ん、で、レ、イ、フ、人、オ、  
 運、解、員、を  
 通、レ、団、覽、報、を、週、一、ハ、レ、イ、カ、カ、ウ、集、め、テ、  
 一、ハ、レ、會、議、を、開、レ、カ、キ、  
 一、ハ、レ、方、向、を、取、レ、テ、一、ハ、レ、後、来、の、事、務、  
 一、ハ、レ、負、担、を、更、に、受、持、は、  
 一、ハ、レ、運、解、を、取、レ、テ、一、ハ、レ、思、考、

議長（原升際君）休息——午前十一分

午前十時三十九分

鐵衣(左弁賀君)年漸中は幾人くらゐに船りたりと思ふ

1

王審議員林以方雅次君即登禮願羊年

五、金（銀）の流通の円滑を爲すに  
財政方針を開く事と相俟て自玉の見地から全面的



に補助金負担金は削除を以ておろすべしとす  
 掛けおのづから事業には軽重がござりますしこれを  
 一律に削減するといふことは市政運営上にも考慮  
 の要があると思ひます。市におきましては昨年より土地収  
 入とあるには商地適作の増大加増に市長さん等は特に暖  
 地園地を強かに推進するといふお話を聞いておりますが今  
 年度は半減と全然現れておりまして、これは中の農山村  
 に付する指導方針が大分と変つたのかあるいは農家  
 面がいろいろ要を打つたのかそれをお伺い致しま  
 す。若し農家から要を打つたのだとすれば、どのよう  
 にかゝる要を打つておりましてか、その陳情組に御請願  
 願ひたいと思ひます。特に私は本年度関心をおこさる  
 のがござります。今農林省におきましては新農村建設費  
 レイアウトの意を十分におしり、そして市町村自体の











は国からの多額の補助で、ダブリン市で市長と議員の制  
振課等に依り、願望を採択し、買入しようとする。願望  
ありき、が、認められるか、否かは、分りません。積極  
的に認可しようとする努力を、行おう。

五番（秋山万次君）農林省の新農村建設計画に対する  
市の計画を、願望に致します。

農林省の課長、高木松三君）それによつて、小田田開発  
整備事業を行ふべく、市民に、言います。

議長（石井源次君）残り三十五番議員、小沢孝義君、即ち壇  
願望。

三番（小沢孝義君）私は前廣岡君の、大方、同様、の意味、の廣  
岡を、稱賛しております。その、間、三十三、年度、本市の  
平野、君の、内、産業、業、経済、南、費、ド、フ、イ、市長、さん、に、即、廣、岡、  
した、と思、います。先、程、米、さん、に、即、廣、岡、さん、に、



[illegible]









いれも中し、すてけあくす不取ると思ふております。この不貪  
利の農産政策に対し相当大巾に施行される目算が  
あるのかと云ふ事、今後の進捗次第で通一、二期待と決めた  
と思ふ事。

三、中山陸光義村君）以今の市長さん、の思ふ所は、事と違ふが、期懸

政策、解散、事。

市長（田村耕男）先程、東甲と云ふ、一通り三月五日、午前十時と  
俗に云ふ、その書類を受け、そのたか、い、右横の問題、と云ふの  
他、方、く、内閣、通、り、帯、綱、繰、り、分、を、引、込、め、て、置、く  
こと、と、さ、う、さ、う、考、え、ま、う、し、う、た、め、に、や、さ、し、ま、す、相、持  
難、購、と、思、ひ、ま、す、の、や、さ、し、ま、す。

議長（石井潔三）甲と云ふ事、午前、の、会、議、は、三、時、を、お、り、終、り、ま、す。  
午後、五、時、と、再、開、し、ま、す、午、前、十、時、五、分、

議長（石井潔三）午、前、の、民、衆、議、員、数、は、三、名、午、前、と、引、続、け、

館山市議會

會議在湖公署  
於石  
一昨二十四日

議事(臣等習君)二十番議員 松本藤太郎君 田金樽殿

[illegible]



















ゆき正岡目付一月二十三日のレシウ不才并護士の個人納合と  
り五月と延期ニヤす一ヶ月と目付開かれそのやうなり  
原告被告双方の證人レシウ市内六軒の居住高山氏新居居  
住の古田田代氏が證人レシウ以来一モ一モ

高山氏に於ける所有權本土を地割しと當所の民會議員が  
なりとす古田氏は昭和五年から二十五年に在りて所有  
の家三軒と住人五人なりとす

高山證人から本土は將來果道に振かり一畠屋を譲渡す  
る場合の自由レシウ地割しと、又古田證人から伊米シウ氏よ  
り通作權取得をとり代増送任を依頼されたとのレシウ  
は證人を一モ一モ高山氏の所有權を護るからシウの裁判を執  
ちの上調定裁判レシウの申出がありとすたけいども  
小倉并護士の通作權の取得を取下げらばたけい  
首の元金なり一畠屋を并護士にシウはたけいふたか、裁判































が自任成に對して平算の相違からして省々うけたいやうであり  
また誠に遺憾極まりないのであります。就中、産業界経費費  
に於て第一は例え市長の意向が執行者の意向が最終に於て  
いまだ疎隔はあつたものとす。一も平算の算に於いて金と承服長  
木難いものがあります。和に議會と市會を併すものと四段下あり  
またかかる議會を無視して和の如き平算を算見せしむべきの  
にせうとす。昌隆市長は市民の最大利益に忝うべしと思  
へたりとす。又今案に於て平算は市会と投票所とを併すものと  
供養してあります。他市も状況を見習う必要であらうと思ふます  
平算の算見に對して特に考慮を要するものがあります。和も市  
政に於ては休養により平算は当初算により不都合は無い得  
ないものであります。心に於いては自ら案に平算に算見せしめ  
るべく平算を算見せしめざるべきであります。

御答覆は行はれたいと承知しております。



















取と解然し又議會より探知するも既に施行部より義務づけ  
 つれづれなるなりと解然するも不なりとすその更に  
 才を奮発しと担て利便の機会を欠損処分額としたりするは逆次  
 累積するにあらざるに思ふべきなりとすその更に  
 解一いかにあるかノオシるを考ふてオオしし税金を欠損処分す  
 けりうをばさる程度にいてセンタージを蒐イニれを収収不可能の分  
 目や費事施行の上におきバーセンタージもオオしは欠損に  
 なるけりうをを見オオするオオさるる細税金は好一オオ  
 はる欠損額とすうもの解動と云ふといふことにつて非常と意  
 義深いまのと思われオオその案ト云フ

第四案より津波の問題よりオオオオ学校部は多量費を  
 能たすのほじはありオオオオ不備の二つの学校老朽と甲一  
 乙も過さるカレるの若洲の学校オオオオオニれにて整備  
 振起すいかに計画をもつてオオオオ當局若くは伺いたりと意



いま予將に知山中高ありけき育中學校と合けりて一々幼稚園  
園保育園に關し一々一々に付設し一々一々而復同一一々か  
通出外と思ひ置る事一々一々を將に廣同一とと思ふ事  
幼稚園と保育園市多一々一々一々近き使用する事に見受  
けられし事一々の中は用論授養料多しは國からのけりけり  
う付収入も多し事一々市税ばかりなりけりけり一々一々  
せん一々一々各所と幼稚園保育園を置し一々一々一々後降によい  
て一々一々面によし一々一々一々の計費を使用し一々一々一々  
の一々一々一々一々の見解と事一々一々一々一々一々一々一々  
一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々  
に好し一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々

水は産業振興の基本的施策なり事一々一々一々一々一々一々  
一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々  
一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々  
一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々一々







とあります。尚、例を照ねます。本年度に取うた部一車上げ  
ます。本年度当初から本年三月の臨時議案を採択したため  
の諸願四件陳情八件であり、そのうち八件は道路工費の道  
りかたです。西岬中学校敷地の大体操場並みに電部架設  
の諸願は、その内大体操場を除く二つは、それから審議を願います。  
新田平井算に計して一丁です。

又、新越川の秋修工事と同じく平井算に計して一丁です。那古  
釜岳から大和尾神社に通う道路拡張に対する諸願は、他に緊急  
急度の高いものがあり、それを優先に実施しなければならな  
い。その見送を求め、そのうち大石から神倉行く道路の秋修は  
同じく平井算に計して一丁です。以上が諸願に属する  
ものとなります。

次に陳情と題する面を申し上げます。仲手地区の幼稚園設置  
については、昨日市会に採択され、同年九月開園とあります。その



留稿英燈を事らるゝ一々昨所更施有てありまゝ一か一しを  
事は相元佐民の衆い要望にまゝ施行したるありまゝがけり  
切れり時とたりりとも市に連絡するを力にせりすを放置さるゝ市  
吏員小吏付し知りいと来たりする状態なりまゝ

第4中學校新築費増徴案の件に關し三十一日、度々算計に於  
て板倉とより計上しつゝある一館小學校増築案を事らるゝ  
一々第4中學校同様算計増徴を講じてありまゝ

水戸下河内側水路改修の件久が館小學校増築案改修の件  
に關し一々財源増徴に困難な關係から見送つてありまゝが  
將來もまた知れりいふやうな問題であると思はれりまゝ

物時一々あるやうな處切する同じと九年七十六番地地元の市道  
を改築するやうな所有者に相下りて改築してはどうか例に  
一々一々ある意見を聴いてはどうか所有権者たるもふあり相

米穀騰貴の多き場所であるやうな所更相下りてはどうか今と別



幣すも場合支障を来さうと思ひつゝも現在花のまきどりを  
直しの御意見からいへば、諸願の趣をきき、恭にたゞ更情で  
まき、以上は、御承知のことと申す。

次に欠損及今の状態を申上げます。総戦後の解降後、お  
まゝ、一課状態を見ますと、不均衡から大分、不  
落入り、健全な極と申すも、又他の方面に傾動せしむる  
不明瞭な相違数あり、又、人により、も、解散せしむる  
と、いふ人達と対し、止むを得ず、国憲、健全な收束を  
し、漸く、分、解、行、停、止、を、な、す、の、こ、と、を、し、  
ま、す、と、申、す、と、い、ふ、人、達、と、対、し、止、む、を、得、ず、  
も、毎、日、未、算、前、に、欠、損、額、に、関、し、て、行、け、れ、ば、  
な、ら、な、い、と、い、ふ、人、達、と、対、し、止、む、を、得、ず、  
な、ら、な、い、と、い、ふ、人、達、と、対、し、止、む、を、得、ず、

昭和五年、前より、一九九四年、前より、の、他、市、の、状、態、を、  
市、に、お、き、ま、す、と、い、ふ、人、達、と、対、し、止、む、を、得、ず、  
け、ま、す、と、い、ふ、人、達、と、対、し、止、む、を、得、ず、















議長（石井潔君）暫く休憩致します。

午後二時三十分

再開致します。

午後二時四十七分

議長（石井潔君）通告質問続行致します。

二十七番議員 伊勢仙之助 御登壇願います。

二十七番議員 登壇

二十七番（伊勢仙之助君）どうも先税から市長が痛めるというお  
るようであります。まじめにこの予算を出したというふ  
うに私達若元よりその態度に敬意を表するのであり  
ますが又私達議員の立場から申しますとこの予算にたい  
見解を異にする問題が種々ありますので場合によつては  
組替え案を出すというところも出来るのであります。その  
場合におつて市長は自分の信念と合致するか否かといは自分と  
してはヤブゆけないと議会不信と形を場合によっては打出  
すまいかとせんというところになるまいようになお互に市長に



質問レタレ十分納得の上でこの予算の決定権は市長に  
を審議を要しうふうに考えまレ私に市長をいじめるで  
はなレこの予算を決めるのに我々は議会人として任された  
予算の決定権というものを十分に行使したいとこつう  
を前める市長をいじめるでなくレ市長の考え方にど  
ういふところを意圖レこの予算を盛るかといふ点に  
つ質問するのてあります。

私の質問の要するところは、法人税率をどうして改正し  
ないかといふ点でありますがいふは裏を返しますとなぜ  
所得に対する税率をなぜ一%上げたかといふことであ  
ります。このことにつまレは条例改正の中をやさレ  
相当討論されまレ市長が考えつゝるとこ市長が  
意とするところ概略の要はつかれましたから私のこの質  
問の中は省略をします。



オニ莫の各種補助金七打切られたことに対して復活要求が  
出た場合と地方自治庁長官の承認のないものは拒否出来  
るかと市長はどいまでもこれを拒否し続け得るかとどう  
莫でありますか 勿論館山市は特別措置法の施行令の  
二条の一項にはつきりしているように五万円以上、十才未満の人口  
をもちてありますからその需用財源の百分の二というものは  
当然一制約を受けるといふことはつきりしているのであります。  
十二月二十九日に特別措置法が施行された時にもどういふこと  
はつきりしているのでしょうか。果に行うられなかったとい  
うけれどもそれは一寸おかしいのであります。二つ二つといふことは  
最初からわかっているものであります。

私どもはなぜそれがどういふことの原因となつたかを  
館山市の赤字を出したかといふことはつきりしてはゐるが市  
長と一般の責任があるといふことは認めないわけ



にはゆかないのであります。

館山市は滞納問題とレいも

まだ相当の大きな未整理な金額をもちあります。

この滞納がまだ不十分であつたという点にフイー／＼部とオ入の

欠かんを生じたというこの問題にこの原因があるということは

ははっきりとレいあるのであります。

私共自治庁長官の承認以外のことは拒否出来るかと

いふことは今左に出てる問題、追加予算で何とかレいゆ

んだというふうな先程来市長の答弁があるようなん

ですが果レいということが出来るかどうか移転的経費

の内容というものはどういふものであるかという点にフイー

追加予算で何とか出来るという問題が非常に不可解な

あります。恐らく最初から移転的経費の性質のあるもの

であつたならば追加予算と出ても当然認められないという

のが我々の解釈であります。



この案とフリー自治庁長官の承認の件ものは本年度中は一切拒否出来るかどうかこの点について市長から明確な御答弁願いたいと思います。

おし出来ることとしたらそれならこれに附随した質問と关りまして移転的経費を果にもう行った場合に一千万円の中にどういふ費目が計上されておりましたか、やういふ案も合せて御答弁願いたいと思います。以上であります。

市長田村利男君　一口に云いますと移転的経費の復活といふことではございませうかと思ひますが昭和二十九年年度におきます赤十字団体におきましては新しい法律のもとにさういふ施策が行なわれなければなりませんのでさしづめの移転的経費は落したわけではございます。これをこの中には産業界の農産産業界のといふ方面にございまして、も尚移転的経費といふ形では出来ず部門が多々な



ありと存じますので十分果と折衝せしめようその方向に進めたいと思つたのでございます。

しむなれらるゝまで移転的経費の性質を配すもので館山市としておしはなすまいといつて見解に立ちまされた場合はおし得ないものと承知しております。

二七番（伊勢仙之助君）只今の説明によりますと移転的経費の中にも復元をいふものもあると申し、これは現在までに明確にならなかつたところ、こつこつと、こつこつとあります。將來復元しようとする場合に財源はどこからもう来ますか。この案によつて何れたいと思ふます。

助役（小出武男君）大体今予想してあります財源としましては過早年度納金と交付税の一部、これを一応財源と予想してあります。

二七番伊勢仙之助君）市長元の説明によりますと過年度の滞



納にツクは赤字克服のためと当てたいと聞いかりました。が、  
ソウ財源をそっくり当てるとなると多少喰違った感じを受  
けます。その美市長さんと助役さんの見解はかかです。か  
市長(田村利男君) 滞納は五千万円現在。ゴゴゴと税務二課の  
方針で進めばこの内三千七、八百万位に喰止めることば出来るの  
でゴゴゴと又、特にこの財源はどこに求めるか。ソウことも  
本当は云えわけでありまして三十一年度予算全体を  
みまいて現在残すソウ当になるものは滞納の分であります  
けれども全体の予算を考えまして野口やはり滞納及び  
市税家屋税。ソウソウことになるわけ。でゴゴゴゴゴゴ。







議長(石井潔君)

休總いたします。午後三時四分

再開いたします。三時六分。

議長(石井潔君)読して三番議員福岡君即登壇願す。

三番(福岡保徳君)昭和三十一年度予算編成に當りまして

当局は常に御腐心されるが方を察する者であります。

私の云う御腐心とは腐心のことです。その理由は上目に対しては

エビでクイを釣り市民に対しては隠し財産の追加予算で

もろ編成とある。しかし一応と来ておりますので一応次をお

聞きたい市長の明確なる御答解を得て予算の編成

積金の資料にいたしていただきます。

市当局は健全財政赤字財政をいふから何故に年間

所要額を綱目雑せすに必要とする経費例えは三十九年度

に確約せる丸山ダムについて事業の必要経費等に

つては移転的経費などと稱し年度開始後追加予算で



うと言明するのは市当局のさう健全財政に違約すると思ひの  
ありますから其かたでです。

又その追加予算の財源と平相の額をお聞ぎしたいと思ひます。

次に昭和三十九年度決算における赤字の見送しをお聞ぎ

したいと思います。先ず相当多額の赤字が生じた場合今年

度予算は必然赤字を招来すると思ひしれは三十九年度

以来の赤字を繰越すからです。市長の言明せられて

いる均衡予算の方針を崩壊すると思ひのうでござます。

又市長は市民の福祉に重点を置き又教育予算は毎

年度より上廻すことを稱へるが実際は市立高校の授業

料増額の還元とほゞ同額なのは欺瞞の甚だしいと思ひ、又

館山高校の充實の爲又教育程度向上の爲国公立校と人事の

交流の基をなすと思ひれる一般給与の事例又は退職時にあ

ける通算等もござます。又県立におきながら近き将来に転



留することが必要であるという方の美は、かたがたです。

又、教育委員会の技術的に簡素化したものの経営を直接教員に任じ、向けることが必要であるというの理解は、かたがたです。

又、観光面における城山に重点を置く観光地として、一歩を踏み出すことは大変嬉しいことである。これは、是非市長の所見を反映して、なすべき所願するべきである。市長の所見を反映せず、夏組も少く希望し、あるところ、国鉄の家の跡の跡は、かたがたである。これにより、都市計画に必要である道路との関係があり、これを使現を阻止するとのことを、かたがたの関係は、いかにあるか。又、張所、その跡止により、残り大個所を新進的に市長の意向に基き、執后、療止するところ、その家の跡の跡に、これは何か、あるのか、何い、ない、と思ふ。その理由、これは、現在のあの大まな建物を、これ、張所、といふ中、これ、また、無駄なといふ、本予算に計上し、ある。

能即幼稚園の建設等、にその必要、建物を利用するところ、な、これは、い、か、どう、か、伺い、し、な、と思ふ。終り



市長（岡利男）は又この問題の方面で、然るに本年度は九十五万円でございまして先  
程説明申し上げましたように、たゞ移転の経費の料にすぎたりせず、を削除した  
りまた、市長といふことは、優越的に農村施策全般に影響も、莫大な  
利用度をも感ぜられ、これは是非とも完成したいと思つてゐるもので  
ありまして、決してこれをあきらめたいわけではなく、その負担の半面分は是  
れが今後の追加予算で計上したいと思つておいます。次に三千年度の  
赤字にどうしてかかっているかが、千七年度にかゝりますれば、千五百万円の、赤字  
に至り、千六年度の三十年度にかゝりますれば、千六百万円の結果となり、千  
七年度の千七年度に於いては、千八百万円を押しやるより  
どのくらいです。次に県立病院に付する、館内高敷の問題について、まずこの  
この病院の問題につきましては、方針決定にかゝりても非常な問題になり  
ます。県立病院の市立病院の編議の花を咲かせた事を悲しむわけでも  
ありませんけれども、おそれば、県立病院の前途を構はないと思つて  
おります。



しかたなりすといふ果敢勇断という事は例へば他市の市におきますと如く果  
主初建えの時には現在ある校舎の他に運動場を拓いた他に二千万円位の現屋  
を築きて果敢に之を建てたというところの中入れれば片の校舎を建てたのみ  
といふ所なりすといふ事等を考へて来だ 未だにたゞいるものぞ  
いふ事。次に教育委員会の組織を考へてよりことごとくいふ事なりがこれと致  
す。併しよりすといふ事なりには減少にたると思ひのつていふ事なりとの所  
は、かゝるに市長や市長の权限もろく行使をさしおけいといふ事なり  
これにすといふ事に教育委員長の教育委員長の通に肉体的に沉重節約人  
は組織というものを教育に課す中に入れてありす外には市長とい  
はざる事なりといふ事なりす。

次に小山問題はぬきすといふ所の家の問題といふ事なり。これはあるまで  
鎌倉市の東部にはよりすといふ事。東部管理局長は代の競争に  
すといふ事。小山東部管理局長の設計とつたわけといふ事なり。過日市  
長官に持て来すといふ事。写す事なり。他設計図によりすといふ事。大は設計



でありますけれども、その御所、通所の関係に多き一は、修繕建  
 設課長の申上げます。が、殊う妨げに付えおられないと云うことを断言  
 申し上げます。次に御所の問題でございます。すも、これに就いては、まじな  
 所の御所は、富山神社のものであり、御所は、さうな館所有のものであ  
 りまして、各道の通所は、お意ひますが、その御所には、おきまして、市の管理  
 には、おきません。が、將來起ります。他は、館野、それは、本場には、まだ、持持、来  
 て、あう。さういふ、思ひ、かり、おき、その、さういふ、もの、さういふ、か、思  
 い、まう、か、来れば、御所、さうも、納、さういふ、さういふ、発言、さういふ、さ  
 富山、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さ  
 富山、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さ  
 ません、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さ  
 三番、富山、保徳、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さ  
 ういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さ  
 の、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さ  
 の、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さういふ、さ



教育委員長(和田隆男) お答へ申し上げます。  
その方に只今市長

趣旨は赤いよう剪刀に保存してあります。

より委員会にも苦痛を訴えて呉れるのを聞いています。

乃重乃の件果る取置と違り所は昭和三年以降の恩給迄



の改正に伴い新採用の職員の見込受給が未だなく市町村思給組合の  
 下から受給する様になり私も受給すると、無任うからの年数を通算にならな  
 へつてあります又果の教職員退職条例と市の退職条例との違ひもありま  
 す。それら右を通算出来ないと関係上取扱い新採用した事にしても  
 又やりとり出来ると處する取扱い優遇教職員でも、無任の横を他に  
 取りいさといふことも聞しております。努めて優遇教職員をもろさう  
 関係の成績も向上といふこと上から委員会としても関係方面にお願  
 い申上げたいと思つて只今その内容の實質的なものにこの検討をいたし  
 てる次第でございます。

建設課長（新井重助君）都市計画でやっております只今の重要幹線  
 道路は昭和三十七年度より経路事業としてやっております。

三年度までに中を完了した距離が一千八百米といふこと  
 になっております。

本年度は沿岸の道にもつてゆいといふ理由をいまして、昨年度果の都市



該線長が矢張りより現地を調査せしめたと云々現在の市道を拡張すると  
いふは民家にもかかりますし用地費もいふうう事情で相当多額に及びます関係  
上承にせむと云うう方針に存するしなれども年度は毎々入るものにと云々に伴  
はずして国鉄の計画がありする等の関係でござりまするがこれに建設課と國  
鉄と協議をしまして道路も作る等家も来るというのをに完全にならぬの  
計画の出来ることにはなれりするものなれば既に既のことと思はる。

助役（小出武男）これだけの建設費は当然予想におかぬ補助的經費  
と云はれざるものなり即ち同でござりまするかそれは当然の申しますより  
は之を補助的經費にせしめしは個々に審査する条路がありまじんのと同  
一步調で進められりてもござりまする。それによりますれば事業開発に重要な  
仕事でありするものなれども然し今では必要經費は計上される計画の  
ものも考えたりする。更に先程申し上げた様にその料外に収りし  
給分あるの許可の進める所の案をたづねば当然それのものに入  
性格のものじやなれども予想でござりまするかしてある筈である。



三番一福岡保健局の当校の南側にすか実施する意志があきかいか。

市長（田村利男君）意志はあります。すてに山谷課長に仰らるる要す。

あります。

議事（石井康君）議事三番議員即ち食糧願います。

三番（小沢忠太郎君）先程東郷山市の赤十字病院の南側にす

かすは非常なる需要を見たり。市長さるるに對しては常日頃必

おににたるの事ありき。その難山市の赤十字を生れて来た原因を

探るれば市当局の種を蒔かれり。何取りに悩むという

現状は如何かと考へます。

市長さるる赤十字の赤十字は日増に増大して参つてあります。

常日頃市長は赤十字病院の整備にようことを常に行

われ又赤十字の職員も努力されてゐることは認められます。又

感謝する次第であります。しり。市長さるるに仰られても

月を過ぎれば進る事は増大し現在と赤十字の赤十字はさるるあり



ます。滞納整理に努められ現在課税されてあるところのものは整理されつ  
つあり、またに課税されるものも滞納に廻さうなことを課税  
してやることは出来たものの滞納は掃き払いだと思つてあります。  
なほ私は滞納が作られるものの原因を究止めるの階層を際  
ます。これは始めに政治家であるべき態度であるという考へるのであ  
ります。

富貴市長さんは滞納整理に於ては課税を廻したところ、一方は  
によつたとにかく、た施策を述べ下さつたが、滞納原因は三に  
ある、とりこも税金に根拠を見下さることは、べつとあります。

例へば課税が最も悪い方にあるのは市民の懐具合が悪いとある、は市  
民の懐具合、この市民の苦しさはそれか、というふうなことをいかに  
当局は研究はされたか、並心は原因に対する今後の方針、  
これ抱負を先ず第一に聞きたいと思つます。

本会議開始以来番付問題に付するものは、字克服の問題



とあります。

自他方々の他からうく指示を授けられに制約されているく、の難  
関にぶつかっている。今の今日に至る現状だけを考えることなく  
よるべき原因を考へて使つたりものか、帯納という言葉か  
なくなるような処置、万端を市長さんにお伺いしたいのであ  
ります。

その問題は帯納問題に関連もあるし又先程来さうくの  
市債問題の中に含まれておる問題と非常に関連性があり  
重複する点を避けた方がいいです。私としてはもう一度これを明  
確にして納得のゆく、具体的に市長さん、各戸をお願ひしたいと重  
ん申述べたいと思ひます。

一昨年大村が合併してしまふ、鹿市の産業形態は大村改正を  
のりと思ふ方が多い。又産業別人口の上から考へて、も原産  
業と云ふものが農林水産業で従事する者は総人口の半数以上を占



めつてあります。この生産都市となつて龍山市の厚日市長さんはこの原始産業を発展振興には最も重要を置かなければならないと考へます。か  
過去の行政を考へても又今面が不十分なまゝ工年度の予  
算の内容をけしむ誠によい施策か貧弱でありまう。奥に  
耐えたいものがあります。

第二回でも申し上げました様に解消する最も大事なのは鍵  
は生産を増進産業の発展を助長して裕福な龍山市民を作るとい  
て担税力があるならば少くも税率が一パーセントの増加があるも市  
民は負担し得るものであります。然るに昨日本市市民の税率の  
百分の二というものが非常に問題になつておるものであります。

市長さんといへばいろいろことを面分の上げろといふことを考へられ  
るもの。龍山市の人達をいかに裕福にむかふともしないといふ  
裕福をいかに作るか様々施策が欲しいとあります。

即ち農業地帯にあるには農村地帯の振興発展これが富んで



果するならばこの影響は忠街である商店に及べし中心街の  
発展するものなるを思ふのがあります。そして近き市岡の発展  
するものなるのがあります。

前様に農業や水産に中實を振するとは数年後には数倍にたえ返さうと  
 するものと相信してあります。かかる要策のあり市長さん、市庁免取の長期  
 政策のうといむの農業水産に関する総合の方針を建てたでござんとい  
 ひもあります。なにより建てると思ひます。一先軽束市長さんの答弁  
 を聞いてあります。誠に情ないと思ひます。

秋は三ヶ栗、農山漁村を富まするにかゝる施策をお待ちであるか  
具体的施策が聞きたいのである。

例を以て他例先づこうしてやるべし。補助的経費は削ぐ  
 には補助金は出せば、支出は、その額の割増はこうしてやるて  
 更に金額にしたらどうの位の差額をこれに充てる。これをその財  
 源はこうして充てるという具體的打立てを要しておかないと



思ひます。

その次どうつとて簡単に先程と同議員から機構改革に及ぶる離  
隔離病舎の統合は既に市民の福利増進保障衛生の面から見て市  
長先づいかに処置するべからざるか伺いたいと思ひます。

私としても意見を持ておりますが、その時間もないので概略申します。  
依り同議員の先程の伺ひに対して離野の病舎は処置するといふ  
御答弁がありましたが、措置しないといふことは結構しかしてこれに  
受くるべき救車を用意するといふことを苦む方が一離野地

区該当者が出来た場合にはいかにする処置も取らずさうか万全  
な処置を取らねばならぬ処置をしないといふものもあり得る。

市長(田村利男君) 離野も早くも赤字問題の解決の方針に結実し  
ま、様日夜苦心しておられるとありすが、漸時より努力が報い  
られずして先般来しはしく申上げざるを得ない。救車的に  
申上げますと、昭和五十八年度の旧市の常納額の三千八百







お考えなければなりません。ところが、面々出してゐるわけでもなく、  
まして今後市といふまじきしては出来る限り市民の要望に答へ施  
策も市民の心として忠実に実行しゆべきだ、と思つてゐます。  
用は事業費調達を因るとして市民の福利増進を計り市民各位の  
御理解を得ようと思ひ、端緒を整理してゆく所、折角でございます。  
まず、その点について御協力を願ひます次第でございます。隔離  
病舎の件でございますが、先づ一応、湖内管内の内容は、解野地区は病  
舎を取扱ふ右后に起る。病舎は、どうするかという御質問  
とあるが、その將來予算の許す限り、解野地区におき  
まして避難病舎のつくらす必要はないように、かえり避難病舎  
が無くなる諸々になり、感謝の義持は打てる方向に  
なされてまいりたいと思ひ、次第等をごさいます。

吾輩は頗る有難いから葉としてあらうかいと思ひます。



私としてはこの隔離病舎を鑑野を無にする次でどうしよう新道  
的の方でこの際数ヶ所の病舎を統合して近代設備により  
保護をせよといふ意見は私も配當して市民がまぎかの病舎  
を考へて安心出来る措置を私にせよといふと思ふ所の甚なり  
ます。市と東はつて

市長（田村利男君）私は市長であります。又は醫師でございます  
その方の意見を存してあります。出来ず方々は鑑山市の風筋  
アタリートのを兼ねて病舎を作りなして市民の安心として供養に  
かゝる様は（家多起る）しかし市の財政にも限度があり軍務市長の個  
人的意見だけを私の意見と云ふは患者の衆として供養病の処置は当れる  
様な事を考へる事には中一般財政も考慮すると思ひます。るを可んや  
んやを考へる事して将来貴族は添つたといふう其方へを考へる（了）  
ニ番（安西政雄君）私の質問に付しましては何人の職員の種類を質問され  
ます重複する個所はなしてございします。何回重複しても警告を与える。



意味を附しあつて申上げます。(拍手起る)

今時の市予算は編成に當りまして先づ、我々から一考くせりしむるに  
積極的予算例を土木費と教育費の如き、市民の福祉の爲る予算の  
計とは非常の量を用ひられをいひ、主は入丁とすむるなり、むづかしい所  
があるを程々申してありするところ、移転經費に金を借りまして  
農政面は対し、しき非常は不支給した結果を折込んとするとも遺憾に  
思ふべきであると思ふ。

事業用資金は農業振興的の資金であるのは農政面は移転的の  
資金を借りてゐると削減しようとするを私は農政に對して誠に申訳なく  
思ふところある。ある者は水はけの補助成金とかあるは交付金とか又水  
今までの保償金とかあるものとや、情民を悩ますところ、再論議もあり  
するもの、これは程のものはあるけれども、何れ的水的なるものなり、まして例えは農道を  
作る補助金を上げるとか、灌漑用水の修繕をするとかあるは、種地整理の補助  
金とか、いろいろあるのだから、それもあるを交付するものはある、見通せるほどの農







[illegible]

具体的な詳細は後になりす。今は先般説明の通り、この傾向を  
つくりだす意見と一部の傾向は保留したいのがあります。  
最近の先般より多く論じられ、私も農林委員として  
心を痛めていたところ、ますますかわる。そのための研究を  
進め、三年度までには、必ずしも、その傾向が、予



算細にえり片鱗も見なかつたを云う正を横威に云うてありきと  
おもひなりて廣くある市長と云ふ後うぬぬぬの開拓といふことと  
いふなる所見をいふものなりをを相同しといふをいふなり。

和質肉は望の株もの心へ玉あり

重長(田村利男君)安西議員の仰顧問の要は大任ありき

市長の抱負と市政の発展

○玉いふより市長といふは若しあり余る賤賤ありを

わうば思ふ存方思ふぢや  
市島氏の福社の

考し努力しむい志願は山を中りてすれり限ら

北政内よりまじけりうの中要をいひて赤字をえ取し、端納を整

陛下の如し即ち市民の憂痛をなすに將來の希望を有する

わんわんの施策を取る若し平一年度予算を取ったのと同じ事

いかになり突如として起り来した物語貴とう棄の發生

此のモノは、  
市長の提案に  
よるものといふ。



官山古義







是れ何れは極端な智慧の過りか、或は又その（笑）……  
私も同様に全議員よりく、復同しをせしを重複を云ふ  
まいし、わがらうの市長を心から就任せしめられたい、其の非常  
に、あつといふ反省をせざるをば、其の云々ありては、さういふ  
付かない、大抵そのやうに、カチン——擦るわけは、分るが、んじ  
や、いかに、さういふので、おけりしと、いふと思ひます。  
所を、では、不作為議員より、その理論的、復同の、おえん、を、  
私は、これ、おえん、ある意味では、感情、的、なる、分る、おえん、の、申上、が  
おえん、いふ、先、ず、その、つ、と、して、その、新、建、館、の、市、各、部、を、して、  
その、の、年、が、その、あり、その、当時、取、違、は、館、の、市、の、建、設、計、画、と  
いふ、もの、を、就、定、いた、し、して、その、約、束、を、お、し、す、その、後、は、必ず  
新しい、発展、の、大、き、な、希望、に、燃、え、た、り、右、側、の、もの、の、工、事、  
し、は、は、お、し、れ、以、来、財政、窮、乏、の、方、に、な、り、く、その、建、設  
計、画、の、実現、が、得、られ、た、か、つ、て、その、三、十、年、度、の、予、算、に、至、つ



ふはんとんど、新設計画の意義とらぬのうたてな、この  
あります。今度と同様に、これを事業経費に致し、しても  
合併設計画の一番始め、地方自治の本旨を具現する方  
途は、自治体を強化し、財政を整え、もつ事業を振興し、経済基盤  
を確立するの、一番大きな問題である。二、三、入、ことばうたてあ  
るもの、かりり、が、い、もん、の、費用、が、盛、り、あ、い、ない、秘、秘、秘、秘、秘、秘、  
を、採、擇、し、て、あ、る、と、う、を、は、裁、に、遣、憾、の、証、で、あ、り、ま、す、

その後、い、え、あ、る、い、わ、り、の、収、勢、が、変、を、あ、る、は、財、政、状、態、が  
変、を、と、る、あ、ら、は、改、め、て、その、設計画を市長は、兩、機、討、し、て、事業  
の、一、つ、く、を、推、進、し、て、い、か、な、け、い、は、な、ら、ない、の、を、は、お、い、か、と、考、え、る、り、で  
あります。その上、い、つ、く、と、質、問、で、ん、す、し、て、市、長、は、財、政、に、進、出、を、い、し、  
隠、い、時、機、を、も、え、る、事業、を、消、費、に、当、る、と、い、う、う、解、答、を、お、こ、  
し、ま、し、た、し、か、し、た、の、ら、賛、刺、を、考、え、て、い、ま、す、と、我、を、市、長、を、冒、瀆、する  
言、を、あ、る、う、と、私、は、考、え、ま、す、



ほむらば予算というものは年の市の大綱を決めるの市の予算によつて年の計はき  
りけるものありき。その予算の中に表面に居然ある居りずいどん形であ  
るが分りません。隠し或郷でそれをやうしうとを言換えるなりは地大の田村  
氏、松平算よりある特をかりおせんといふ。自由の自由の思惟、館山  
市政を操る行方うを操るなりは田村市政株式会社化する感がある  
のてありき。その松達は何としても組織をなすには納得出来  
ないものあります。

カミ矣ともししめて先程申し上げた。産業、経済、教育の問題であり  
ます。それは何國も市長さん、答弁で承知いたしました。  
従て 農民の生活の様な状態にあるか、市長さんはどの様に  
農民の生活の状況を調べてあるか、あるいは承知しあつか  
うか、この問題を中心といふ傾向にあると思ひます。

農民に申すやうと私も農民の一人として言ひましたが、過去何百年  
来封建制度の中では君子の下に家臣等というものがありその



家臣の下に農奴 百姓の奴隷として何百年間呻吟して来たのもあります。

土地を失つた農民は死ぬという事もあります。

さういふのは非常に苦しい、農民の生活であつたのをあります。

たゞの資本主義と云ふ資本主義は農民を苦しめることにもつて

自由を發展させ安易物を取外し輸出して日本の資本主義は發展し

て来た。しかしながら現在の段階ではそれは無くなり農民に新

しい曙光が見出さる様に付たのもあります。ついでに我が民が社会を

あります。さういふ時代にかゝり尚市長さんは農民に対して税金は

どんく／＼取立て、一つお農民に返してやうたい。農民の爲の施策

をやりまするなりはもう農民は購はれたといふ松は確信をしております。

そのやが昇の狀態をみますと非常にかゝいといふところがあるのがあります。

どういふところかと申しますと例へば産業、経済、貴も七百万円削つ

てしまつた。しかしながら市長の交際費は倍額に上るなり。又その他



レ市の交際費が四十万円あれば、市の振興交際費、四十万円、又議長  
交際費が上るおまゝの他に食糧費の合計が百二十万円に上ると、その食  
糧費がある。若し心から、釧路市財政の窮乏を救わんとするならば、これを  
全部切つて皆様のすべし自然でよいと然るべきだと私は確信してい  
ます。いりゆる市長の良識の程度に疑問、いゝをあります。九して七とし  
市長が農村地帯農民に対して理解があるならば、毎日「ハイヤー」で赤  
花国道や県道を走るばかりでなく、足袋深達で田の畦の道を歩て農民と  
親しく話居えよと云ふた、もう七は、以上は釧路市の予算は千五年度  
の予算の域を越して脱する時は、たゞありませう。従ふ  
の予算を見詰めます時、ソノ市長は、片迄の産業、予算は  
投資的経費もあり、幾と農民の生活をおつと云う。吾心成の  
を云われずして、この千五年度予算は、市長交際費等、ソノ  
市長市長の細代に流れて、と云う。疑ひ成るべきであります。  
その他に私の質問事項もあり、まずこれに、私は何の須疑ひも答



の時心譲りまして、その美えもお伺いしたいと思ひます。下も要する  
に昭和三十年度の予算は、私に決めざるなら、市もさうと市予算で  
あると云ふ方と過意ないと思ふのもあります。若しなす、市長がその予  
算を組替へてお出しなすと思ひ強く存じます。私は例えんになさう  
も、反議をいふが、市民としての感情を訴へる市長の獨断と不見識と  
正すべく、救済の運動を展開せられたいと思ひ存じます。是れが  
砂川町の問題にしても然り。今やあらゆるところ、農村にしても、民  
生より強い勢力をもつて進んておられます。どうか時代錯誤を入ら  
ない様、我々の力を、過少評価するなと、市長は市民一人一人の  
の要望を十分聞かなくてはならぬ。怒り

市長（田村利男君）飯田議員にお答へ申上げます。

建設新画の実施につきまして、着々とも進んでおありまして、少く  
も昭和三十年度予算は、おきましては、大分普遍に成り立つてお  
り、記憶してあります。



又隠微源のありはたかよわれぬが私は農業施策の実施の爲にこ  
のオオ盛られた財源をこまへ、納納繰越分に心返されなければあり  
ましてこれが又そのオオ農産施設費に移へるともなほ所存あり  
し時をこの置とありければありませう大農林の奥底を知らむといふを  
おますか私けりうへた面にかきまへ農村建設村のありむけを  
幾元とせんのかをともて自ら配るありませう。

尚矢際費の問題としてオオ下助役が申上げます。

助役（小出 武男君）本年度予算と向きまして矢際費の増減の膨張し  
するのゆゑかととり御意見を御聴いたしませうか市政の窓口  
である市長が市政を遂行します上向きまして市長の自由と市民の保護  
として活躍する方に必要最低限の費用といつてあるわけであ  
りませう。昨年度の実績から考へると非常な節約をした市長が  
政理における矢際費をいふオオ本年度の決算を伝はれるとい  
ふと思ひますか大館山市と稱される市長の矢際費が今まで











折衝して、先頃、明後橋というところを計りたわけがございます。  
 しかたのわりという結果は、おまきとして、補助的性質という名前は許  
 可が来た、しかしながら、難しう改を行ふ中、場合によつて  
 ても市長の裁量に任せ、最も、い、政務を行つて、必要ハ、あるま  
 け、皆、様、御、相、像、の通り、で、ございます。私、け、こ、う、度、市、長、交、際、  
 費、を、計、る、こ、も、同、意、い、た、し、ま、し、た、の、は、決、し、て、来、年、より、酒、を  
 余計飲むという意、味、は、ありませ。去、年、十、月、以、来、私、は、酒  
 の類、を、は、し、し、な、り、ま、せ、ん。将、来、の、市、政、策、の、考、え、使、う、こ、と  
 を、持、し、申、上、げ、て、お、き、ま、す。そ、う、次、は、将、来、の、来、年、計、画、あ、る、い、は  
 ち、し、て、三、十、年、計、画、と、い、う、よ、う、な、計、画、を、決、め、や、る、ん、だ、と、強  
 は、確、か、に、い、う、こ、と、で、ご、さ、い、ま、す。し、し、た、か、ら、我、が、組、山、中  
 の、お、ま、き、し、し、は、九、三、年、通、算、を、た、い、の、り、の、来、年、計、画、と、い、う、と、決、め、  
 二、案、が、あ、る、の、で、か、い、ま、す。こ、れ、を、三、年、を、こ、の、内、に、決、ま、  
 中、長、が、こ、の、五、年、計、画、を、反、古、し、し、て、新、し、く、市、長、が、五、年、







のけでも、そのまん、難山市、これ、四億二千万円、という大なる  
事業の着手に同意し、その親の、つてあります、くどく、  
し、申上げ、る、り、す、の、持来、計、限、り、る、り、方、向、に、も、つ、て  
ゆ、く、と、い、う、こ、と、も、重、要、申、上、げ、ま、す。

議長 石井潔君 読、そ、十、五、番、議、員、遠、山、君、の、登、壇、願、い、ま、す。

一、五、番、(遠、山、ヨ、オ、子、君、)私、は、男、子、議、員、の、け、げ、に、一、手、算、算、同、や  
一般、負、向、来、に、お、話、し、す、る、と、け、け、言、く、ら、で、す、の、女、性、と、し、て、議  
席、を、得、る、し、た、こ、う、廣、く、を、拜、借、さ、し、ま、し、て、女、性、の、事、も、聞、り、て、ま、  
じ、ま、い、に、思、い、ま、す。

最初に、私は、婦人、厚生、の、問題、に、對、し、市、長、さ、ま、に、申、上、げ、ま、す。

社會、的、的、施設、と、い、う、こ、と、を、か、て、し、や、え、ま、す、か、い、つ、も、の、こ、と、は、か、ら、で  
か、か、り、ま、す、が、特、に、般、婦、人、の、生、活、に、對、し、て、厚、く、も、但、に、對、し、て、何、の  
配、慮、の、な、し、と、け、同、じ、で、し、て、特、に、社、會、費、の、中、で、い、つ、も、婦、人、会、に  
少、く、補、助、金、を、と、ま、さ、し、お、り、ま、す、の、が、皆、様、が、先、程、は、り、か、て、い、う、







[illegible]



何時還元されぬものかかざるをたゞいふす。又それなりうものかと思ふ  
かりおしれと云ふに付その大なる還元屋のあることをだけして  
私達皆で相談しおして大休ある時かあるしてその休身を居都婦  
上座にさせて賞上げその還元屋よりうたまでよくおめれる集。その  
こり婦人座でたそむこ積極的にお休身かあるのをけつた  
りのこりこもび事務局長である島田先生了解を賜はして  
スう線と云ふうとしてかり事務かおれは市長が市長で市長でいまして若屋  
け又遠う会長かたるわけをいすすがえの会長と婦人座かしてその  
更預本に取らぬこりわけをいす。一厚生課からおめはる  
しお近事かおめいけつないんをいす。その莫大のお座が私達  
婦人座にたいはいます。は相まは仕事かあると思ひます。して市  
役所の厚生課並に市長の所見解も承りたと思ひます。それ  
のらむりの婦人の厚生として先程来告乞の須南の海岸の観光  
道路の着る進んでるこりこもびをいす。その観光道路に







まず、特に胸膈の内を感ぜしむるを毎日一番必需品の食糧品とする。ろ  
食糧品は逆に私達が東京あるいは千葉に集りますとやりでもか東でも  
全く逆転した値段を売りだしてあります。えういり商売から市には農  
産物があるを心するより何等の農産物を抑えてよえか何組屋の上  
に連絡をつければもう物価が下るといふをにたり市が計画している観光  
ともし結果をあらうと計画するのを東京にするとお困るしとて思ます。  
えんから新築運動です。えうえうもつろくかおいますか。私の中上  
ずきずきの千葉東京のスーパーはこの環境衛生のをあす、ノミヤ、大和  
カモ、無にしちしより。あの線です。かやせえれを申しますとあますとこ  
れは婦人会が非常に関係してゐるからでございす。と申します。いけ  
るほど片に屋敷とありす。か鎌倉市にもとでし。北區といふもの  
かあまもえとてうかそれ外前は急か。そのむづむづよりか鎌倉市  
は千代年から別荘を始めた。そのまもむづ。その端地を作つたのはあ  
田村長が時代観光地といふから少しもといふ。その面。の東京を告



下木山が三が智えり。系では仕株がなまやないかせめし。ミ、甲敷を居  
たし。親を都市にすべし。やないか。し。り。の。主婦。人。屋。を。先。し。し。  
も。て。多。時。際。際。す。の。行。幸。が。あ。る。大。き。い。こ。う。い。う。事。品。を。撒。布。す。  
杖。械。を。く。え。ど。う。し。う。か。と。う。時。に。こ。う。い。う。事。も。し。な。い。か。と。婦。人。会  
の。持。り。な。て。い。け。る。本。事。が。他。付。て。さ。り。ア。し。や。い。ま。し。て。始。す。そ。の  
の。新。生。協。進。勤。解。の。市。に。お。り。る。駆。除。の。一。番。始。め。を。人。に。す。で。  
婦。人。会。の。始。め。の。時。と。け。あ。り。る。非。難。特。に。女。の。ト。け。す。理。底  
を。あ。り。ん。ど。り。男。の。人。に。あ。り。れ。ど。り。す。と。非。常。に。す。く。に。愚。痴  
が。私。達。新。部。に。近。く。来。ま。し。て。下。部。組。織。の。オ。ま。は。嫌。な。思。い。も  
し。た。か。ら。の。新。生。協。進。勤。を。始。め。た。の。で。す。と。こ。う。い。う。事。申。上。げ。す  
す。株。に。ま。ず。に。地。区。が。あ。り。ま。す。う。る。高。に。ま。ず。に。地。区。を。優。先。に。こ。中  
て。い。う。大。き。い。を。使。ま。す。舞。台。は。ま。ず。に。地。区。に。け。補。助。金。が  
あ。り。ま。す。か。ら。あ。る。こ。は。使。て。お。い。か。も。知。れ。ま。せ。ん。か。の。為。に  
結。局。は。意。図。的。に。あ。る。地。区。に。對。そ。う。も。ま。れ。に。あ。る。結。局



いねをやりにいね世はそれと婦人屋が持ちまうしてしまふのがダスターも  
使う回数も減らされたらしいとて常々松達やりにいねと思ひおしてお  
ります、若し婦人屋の手を引まうた方とて当然市役所では仕事  
の差別が来ることは松達目に見えてゐるものでございます、カント村より厚  
手線下はいゝようにたゞんかられますがスゝ方があつて毛織の地区  
わけ敷や、金が居たわけはいいという方がたゞしきなり松達婦  
人屋はセウゝゝゝの仕事を好む者ゝ直まなりければなると思ひます、  
何であつて非常で婦人屋の種が詭にたりすゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
葉のちりり

議長（石井繁君） 休憩いたします 午後四時三十分

議長（石井繁君） 再開いたします 午後四時四十分

市長（田村利男君） 遠山議員にお答へ申上げます、赤羽根の同  
題でございまして、従来鎌倉市長の職の如くおぼろげ日本赤十字  
社の館山地区長として在りて居る方とて在ります、おぼろげのちりり



生課の簡理をなす福祉保護団体や同胞保護会やいろいろ  
の団体は団体は関与をせし大体責任を取るか島田知事君の  
やうに責任をとりせん長岡解山市の為によろま功績は  
誠に大なるものなりましく加藤君も市を治むる才に富みま  
しくより成績を博せし解山は県下の一二の偉臣を取そ  
まをせありましく最近婦人団体はましく申上げましく総費  
が欲しいなり婦人をましく月ばかり補助を貰ひたいといふを  
ましく考へましく市長はましく申すといひか他に婦人のましく  
業を行ふ婦人のましく児童施設を行ふましく自前道も稼げる  
道はなかりましくよりましく何をましくありましく私にせんは答  
えましくおれかおれいせんは答へましく道つたわけをましくましく  
しをましくから婦人会のましくを自前道し着眼しなましくありましく  
の市長もましくを長岡島田留君が市に對しおれは外郭的に  
協力せんは功なりましくありましくのましく商軍は増かたといふは話合



それを中心とするが、つい先般島田局長が来られたとき婦人屋にも来  
て、主として課長等列席の上で、島田局長からいふのは非常に  
手数のかゝるものである。面談などもあるが、婦人屋に於て責任を  
もつて事を進めよう、島田局長は聖山地區長とか導いておま  
る、といふと申す、それを島田局長が監督の老婦人屋を中心としてや  
る、といふことになるかも知れない、その節は何方の御協力を得た  
か、と思ひます、でござります、次に婦人屋の問題であり、お話を  
のろく、何困難にしてる婦人問題、といふ、おかし、この問題  
は容易ではないと存じます、以外が確かに熊本市におきまして  
取業輔導費がもらへる、あるが、いふ、それらの后に県の取業  
輔導、といふものが、幾分は行なわれよう、になり、もしも、その方に  
依頼を、おまゝとあります、将来お困りの方も、多数あると  
存じます、その御相談、旨に承りたいと思ひます、それから、海濱地帯  
の児童施設、といふことです、これは私も同感でござります、



食山詩集

つゝ美しうおる申上げたい道です。







しては御指摘の通りである地区については非常な地区民の怒意  
 の反映をうけて國數を重なり方をしたる厚生課とをたしおし  
 して本年は二年間に入りまう関係もありまうし各地域の婦人会  
 あるいは青年団など団体との協力をたせまうしてより  
 効果の上りまうより良き指導を得て尚松達厚生課でも  
 同時に技術的指導の常々も導き入るより勉強してこの我々  
 の負債の向上を促したいと考へております。

議長（石井素居）読して三十三番議員望月君御答へ願います。

三番（望月輝作君）私は通告質問により起債、又補助金に対する

市長の信念、これは産業振興に對する市長方針との果を通告

しおられ、先般租米各議員から果を質問のございました。又その債、

美とたそかります。私に直接も通けてしかも簡單に質問をいたして思

ます。市長の本年年度の当初予算の編成は緊縮予算かというを述

けまう申す。私にその果をたして、疑義はございいます。



主として福利的は予算であると考えられております。

例えば産業問題としてまずして市民の福祉を増進する。つまり方針  
でありながら更に内容は示してあげていく。すなわち財政再建整備  
法である。産業政策経緯からいって産業の隆盛を望む。これをいふ  
すか。市民の福祉を増進する。これをいふ。産業の隆盛を望む。これを  
いふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。  
福利的経費と先削減し、後からかります。さういふことをいふ。産業  
団体あるいは商業団体、水産団体、積極的村振興策、さうい  
うのは、さういふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。  
これは相当な予算をいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。  
これは先経費市長の福利的経費からいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。  
これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。  
予算を出したい。さういふ記憶としております。これをいふ。これをいふ。  
経費としてこれをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。これをいふ。







予算を取るべきロヤなかと文という団体補助対象にあるものは  
当初予算に組めないとしたら市はそれになるべきという方では  
やうやくかその割合を同じとし、市民は即ち納税に居る以上その税金  
の行方は良しと監視しており、またそれは将来経済的方面に便  
れねばならぬ寧ろ先程申上げました財政再建計画後の健全に抵  
触するものとして、熊本市はやうなかたければ同様の事も直接納税  
納税者に還元しなければ補助が増加するものがある。

次に市長は土木教育予算に予算として大部費を支出したと云  
ふ事が、それと多量にして内容が固まらず、教育予算は校舎の増  
築と、もう一つものが大部費であり土木費は大体起債補助金  
というものを多量に支出するものがあり、これも考えざるに  
ならず、熊本市は道路や下水が非常に多い、これを早く  
完備しなければならぬ、その点に予算を充て、市長はもうこれ  
いとはえそかります、その予算にあり、また通り若し起債が不認



可に行う場合は重大問題であり、まず予算は確保した上で行  
丹波市長の方針を用いることになっており、時間、経  
過しており、まず、その方針は、市の人件費、これが大体、市  
を、その方針であり、まず、市長は市の更員の希望を考へて  
他から課長を、その方針、その方針、その方針、その方針、  
あるのもあり、その方針、その方針、その方針、その方針、  
を、その方針、その方針、その方針、その方針、その方針、  
その方針、その方針、その方針、その方針、その方針、  
市長（田村利男君）望月議員にお答えします

起債、その方針、その方針、その方針、その方針、その方針、  
国と連携、その方針、その方針、その方針、その方針、その方針、  
覚悟、その方針、その方針、その方針、その方針、その方針、  
不実施、その方針、その方針、その方針、その方針、その方針、  
今の龍山市の財政、その方針、その方針、その方針、その方針、その方針、  
起債の取扱い







むりであるところ云われております。二、当初予算に産業費  
 や小親に盛さるる外観、かうすると産業といふものを  
 軽んずると思われ、三、そのとして免かれないと称はるる方々も  
 二、その言葉など実行がまじい結構でありますけれども言葉ある  
 実行がまじいといふこと、四、その言葉が市長さんからあります  
 と、五、から下む早急を乞ふ、早急と抱負を盛、五、その市首が  
 出さずして、六、して、七、を早く解消して貰いたい、八、を更望す  
 るものであります、九、これに對しまして皆さんから質問あり御答  
 へあり、十、その市長さん御答へは要求いたします、十一、

十二、に教育面で、十三、います、十四、教職員に地域活動ある方に優良教  
 員が旧市街地に編在するといふ、十五、非常にわかり、十六、能く  
 来ております、十七、従来のように、十八、希望により、十九、二、  
 二十、う、二十一、であります、二十二、誠に教育といふもの、二十三、偏重してゆ  
 くの、二十四、ない、二十五、下、二十六、する、二十七、ん、二十八、ない、二十九、か、三十、い、三十一、う、三十二、は、三十三、考へるもの







教育委員長(和田隆治君)職員の身分の問題です。本年度の

根本的的方針と並しき日本学校の職員組織の模範

しうをたすにたすありあり。中学校を申上げなれば

教科担任の運営は、  
その子どが才能に  
応じて行なうと  
考えております。

名教料担任の組織が適正であるようにと考へております。

小学校に在りては男子の此等関係 各学校の中堅幹部に在

着能な取費の均勢に配置されるよう考へております。

て来るわけ適材 適所に配置したいと思ふよし今年

飛行演習を十分練習して人材を抜適に教育の刷新をす

三矢言ひておとす。尚如きの年数勤苦しこれ相當の厚報を

功績のあらもつまずく刷新の意を載せること

思ふ事すの七私情には九べといふとけ思ふ事すの極力固有を迫め

熱意はふふありますその場合昇の方針を検討した結果やはり

あり方針によかうと考へて現在努力せらるる実情で



がよいです。その身分をいふまでもなく、難儀にあらうと思ふものか、  
さういふ努力をその期待に添へておこなふておられます。

教育委員会庶務課長（鶴沢實徳君）は年度の資産配当の概略を  
まづして置るといふには仰せの通りでございます。そのもとにまづおいて  
私の方としましては、何れもこの配当を考へております。庶務課長  
としましては赤字克服の爲めといたつて、そのことを考へて、この配当  
当分の整理のようになさるゝつもりです。この後の折衝にまづして何と  
か少しのちも多くの学校に配当したと考へて折衝を続けたいと思  
ひます。

三大君（嶋田繁君）は、今承知したとおり、この配当と庶務課長の御意見を見  
かねておられます。

統務課長（関戸貴君）は、資産計画は四半期ごつておきまして三個月分の両方  
本額をもちゐるものではない、そのうち、この場合、各課並に教育委員  
員会から出入り何等の考慮がなされる期間にふつかり、その必要



であるというものの先に要するが、あるべきありまの市の財政を  
健全に運営して参りますには、どうしても市入の力を借りねば  
いけない。けれども、故に予算案に入庫金を充てても、例え要  
求が、いりしてもある程度、資金計画にも押さえるを得ないとい  
う立場を取らねばなりません。これは、非常に苦しい立場とい  
うらう。それと、事業費等、体系的に付きますと、多額の配当  
というのでも、いりあす。その中に、大きな事業費を占めます。こ  
れ、局事業等におきけるやないという事、能力を盡して、さうい  
ふおこす。尚、今の市入の状況を見ても、困難な学校運  
を、救う為、何れ程度、配当を、得る。その方、検討して、実現、即期待  
に、係り、努力したいと思っております。

三大橋（島田繁君）もう一つ、お聞きして、通過する。これを、接点、国政という  
が、交通、整備、師と、云々、その、接点、の、改善、費、が、市の、方に、  
居、事、者、が、大、概、を、領、収、書、を、持、つ、て、来、て、市、の、方、も、それ、を、査、定、し、ま



としての希望を証書付されます。それを見ますと昭和三十一年庶務おき  
まして私共の町が百万円市から給付したものが三十万、三つ、四つ  
ふうにはありません。パーセントの多い少ないと二十五、三十をし  
本人でも知らないというところ。一般の医師、歯科医師と比較します  
と、非常は市民の多くが高額のものを支払わねばならないとあります。下は  
つ市長はかかれまして、どうもこれに特約を（と）用いていまして、それで  
その診療所と市長は協定を遂げているというお考えがあまりあります  
か。どうもその点とて、ソーク、強金等、納得して貰いますと、医師、歯科  
医師、薬剤師その他という方々も、あるよりありません。それ  
は可能であるよりは、思っているものなう。うう、数々お考えのの有無と  
か伺いたいと聞いています。

市長（田村利男君）その保険等に基くものでないとして、医師、歯科、  
師にのみましては、館山の諸君は市長と契約を結んで医療に参るこ  
うなわけではございません。しかしながら、特約の諸君も、情へ違ひ



もて契約は右意の上の契約の始めて契約というものは成るもので  
 へいといふことは最近富浦町におきましてもその議題の問題に上り  
 しをやはり富浦の場合には外科医者の取扱はる時の実数で決定し  
 てもその内の半額を病人に支払うという富浦町でやろうと  
 富山と同じ方法でやろうという又決定するにも富浦ではあ  
 る医師を頼んでやろうというのでありますもう一つゆけは法を  
 良く調へておきますをたうけようという趣旨に添いますと思  
 います。

議長（石井環君）以上を以てして予算編成方針及び行政に対  
 する一般質問の通告者全部を終ります。今日はこれをもって散  
 会いたします。次回は明十五日午前十時再開いたします。

人の職事議案、オニ生号及び屋平算議案の各款の説明といふ  
 します。尚申上げます。散会后二十三日号議案について英文解説につ  
 助役及び果に行きつらうとものむの報告を協議会の形で受け











